

ハンディ光沢計 IGシリーズ 業界別資料 自動車ボディコーティング編

塗装やコーティング面の光沢を管理



新車の塗装を守るボディコーティング

一昔前は愛車の輝きを守るために洗車の後、ワックスを塗るという光景をよく目にすることがありましたが、最近では新車購入時にボディコーティングをする方が増えています。

ボディコーティングは、「光沢の維持・向上」や「撥水効果による塗装面の水はじきと防汚効果」などの効果が期待でき、簡単なメンテナンスで長期間ボディを保護できるため、新車時の光沢を維持することができます。

「あいまい」を明確に数値化する光沢計

光沢度合を人の目で判断する場合、個人差はもちろん、その時々周囲の明るさや体調、気分によっても結果に差が生じるため、常に客観性を持たせることは非常に困難です。

そんな人の目にはあいまいな光沢を明確に数値化するのが光沢計です。

ボディコーティングにおける光沢管理

ボディコーティング剤には多く種類があります。市場のニーズやコーティングメーカの技術の進化によってさまざまな特長のあるコーティング剤が開発されているなか、近年ではガラス系被膜の形成によって光沢を長期間維持するものが主流になっています。コーティング剤の開発時には対候性試験によって表面劣化を確認しますが、人による目視検査では個人の感じ方の違いなどにより判断があいまいになってしまうため、「あいまい」を数値化するツールとして自動車のボディコーティングにおいても光沢計が活躍しています。



ボディコーティングを施工する自動車販売店によってはコーティングを5年保証するなどのプログラムを実施されており、ここでもHORIBAの光沢計が活躍しています。

年に1回の定期点検時にボディの光沢を測定し、明確な数値で示すことでお客様の信頼を得ることができるとともに、お客様が来店される動機付けにもつながるとお喜びいただいています。

ハンディ光沢計 グロスチェッカ IG-331

お求めやすい光沢計のエントリーモデル

希望販売価格 **59,800円**（税抜）



- 本体とセンサ部 分離タイプ
小型センサでピンポイント測定可能
- 一般的な測定角60°に加えて
20°測定も切替可能
- 小型、軽量、簡単操作

[光学系]	60°測定：入射角60°- 受光角60° 20°測定：入射角20°- 受光角20°
[測定面積]	3×6 mmの楕円（60°測定時）
[測定範囲]	0～100
[表示分解能]	1
[外形寸法]	本体：140(W)×34(D)×75(H) mm 光学系：88(W)×45(D)×30(H) mm
[重量]	350 g以下（電池、保護キャップ含む）

ハンディ光沢計 グロスチェッカ IG-340

現場での使いやすさを追求した操作性と充実の機能

希望販売価格 **125,000円**（税抜）



- 測定値が見やすい大画面表示
床置きで測定した値を立ったまま確認
- 本体に測定値や平均値の記録ができ
専用ソフト無しでPCに出力も可能
- 安心の防塵・防滴構造（IP42）

[光学系]	入射角60°- 受光角60°
[測定面積]	6×12 mmの楕円
[測定範囲]	0.0～100.0
[表示分解能]	0.1
[外形寸法]	61(W)×62(D)×176(H) mm
[重量]	320 g以下（電池、保護キャップ含む）
[機能]	データメモリ、USBデータ出力、 MAXモード、オートパワーオフ

「製造元」

株式会社堀場製作所

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 075-313-8121
http://www.horiba.co.jp

●製品の技術的なご相談をお受けします。カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル **0120-37-6045**

受付時間/9:00～12:00、13:00～17:00

【祝祭日を除く月曜日～金曜日】

※携帯電話・PHSからでもご利用可能です。

※一部のIP電話からご利用できない場合がございます。

MCJ-PE0008A

「お問合せ」